

はじめに

環境省が毎年実施している悪臭防止法施行状況調査において、令和元年度の全国の悪臭に関する苦情件数は、12,020件でした。悪臭に関する苦情件数は近年減少傾向にあります。また、典型7公害の中でも、騒音、大気汚染に続いて苦情が多く、対策が望まれているところではあります。

施行状況調査では、事業場にかかる苦情のうち「サービス業・その他」に関する苦情件数が業種分類で最も多く、令和元年度施行状況調査では1,842件の苦情件数がありました。サービス業の中で最も多かった小分類は「飲食店」で669件、2位が「自動車修理工場」108件、3位が「クリーニング店・洗濯工場」63件、4位が「食料品店」61件という順であった。

また、令和元年度悪臭公害防止強化対策検討業務での地方公共団体へのアンケート調査結果でも、サービス業の苦情については悪臭担当者が対応に苦慮しているという現状である。

そこで、サービス業に焦点をあてて、過去悪臭苦情があったが改善し現在は苦情が解決した事業者や元から対策を施し悪臭苦情を発生させていない事業者を取材し、悪臭の発生抑制や脱臭対策に関する取り組み内容を整理しました。

本事例集が、地方公共団体や、事業者の方々の悪臭への対応において、有効に活用されることを期待します。